



こんにちは、キスモ保険担当の中川 順平です。日中も過ごしやすくなり、秋らしい日々が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も残すところあと3か月となりました。ほんっとに早いものです。秋になったと思ったら、そろそろ冬の意識も必要になりそうです。冬タイヤやバッテリーなど早めのチェックが効果的です。今回は、自動車保険の大改定により保険使用後の保険料負担が増大する事をふまえ、キスモが取り組んでいる「自費修理対策」についてお伝えいたします。




KISMO保険担当社員  
**中川 順平**

資格：損害保険プランナー  
シニア・ライフ・コンサルタント  
T-PEC認定プロデューサー

わたしがご提案します！

Before



お見積書

合計金額 **159,820円**

① 保険事故査定見積もり **159,820円**

保険の種類	平成 27 年 9 月	保険期間	1 年
等級	0 等級	事故有損後適用期間	0 年
割引・控除率	40%割引	年額保険料	181,500円

	次年度の契約	2年後の契約	3年後の契約	合計
保険金をお支払いした場合	147,000円	137,000円	135,000円	419,000円
保険金をお支払いしなかった場合	93,000円	93,000円	93,000円	279,000円
差額	+ 51,000円	+ 44,000円	+ 45,000円	<b>+ 140,000円</b>

② 保険使用後の負担増額 **140,000円**

After



お見積書

合計金額 **105,840円**

③ 自費修理見積もり **105,840円**

・・・リサイクルパーツを使用すると

① 保険事故査定見積もり **159,820円**

↓

④ 自費修理見積もり **105,840円**

② 保険使用後の負担増額 **140,000円**

**保険を使用せず、自費修理で負担を抑え、さらに大きな事故に備えることができます！**

左図のような事故が発生し、自動車が当社に入庫すると、まずは保険会社の担当者へ損害状況の確認と、保険事故の見積りを作成します・・・①。

そして、保険使用後の概算金額を試算・・・②して保険を使用するかどうかの選択が出来ます。

ここで、事故見積りが約16万円と保険使用後の負担増が14万円では保険を使用した方が負担が少なく済みますが、ちょっと待って下さい。確かに新品部品を使用してきれいに直す事が出来ますが、あと一つ負担を少なくする方法があります。それは「リサイクルパーツ」です。

右図のように、リサイクルパーツを使用すると修理金額を抑える事が出来、保険使用するよりも負担が軽くなる場合があります。(部品の有無にもよります)

自費修理する事で、より大きな事故に備える事も出来ますが、急にまとまった金額が必要になるので、保険を使用し、一時的な負担を分散させることも選択の一つです。お客様の選択できる幅を広め、一番ご納得いただけるように、私どもも様々なご提案が出来る体制を整えてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。